

まが玉

場所	団体：野外炊飯場、屋外、ピロティ 家族：サービスセンター前		
時間	1時間30分～2時間		
値段	料金表参照		
季節	年間	人数	何人でも
準備物	<p>【利用者】新聞紙、ぞうきん、ゴミ袋、鉛筆 マスク（必要に応じて）、救急用品 活動に適した服装</p> <p>【自然の家】材料（ロウ石、紙ヤスリ、水ヤスリ、ひも）、ブルーシート（ピロティで実施時） 金ヤスリ※、洗面器※ ※数に限りあり。グループで使用下さい</p>		

プログラムの概要・ねらい

四角いロウ石をヤスリで削って、まが玉を作る。古代の人々が装飾品として身に付けていたと言われるまが玉。一人一人の個性と主張を表現できる。また、じつくりと磨けば、宝石のような輝きが出てくる。

①準備

学校・団体：材料と金ヤスリ、水ヤスリ用洗面器、ブルーシート（野外炊飯場は要望時のみ）をサービスセンター受付で受け取る。※材料数を確認する。
 [ピロティで実施する場合]
 ブルーシートを敷き、その上に新聞紙を敷いておく。※水は、足洗い場（屋外）の水道を使用する。
 [野外炊飯場で実施する場合]
 机に新聞紙を敷いておく。
 家族：材料をサービスセンター受付で購入する。
 水ヤスリ用洗面器、金ヤスリをサービスセンター受付で受け取る。
 ロウ石を削った粉が出るので、汚れないように机の上に新聞紙を敷いておく。

②実施の流れ

【時間】

- 0:00 説明
 - 0:10 鉛筆や油性のサインペン等で、削りたい形の下書きをする。（写真①）
※まが玉形にこだわらず、自由に形を決める。（例：ハートや星等）
※穴の近くを削ると割れやすいので、注意する。
 - 0:15 下書きに沿って、金ヤスリで荒削りをし、紙ヤスリ（茶色）で形を整える。（写真②）
 - 1:00 形が整ったら、水ヤスリ（灰色）で最後の仕上げに入る。ロウ石を水で濡らして水ヤスリで磨く。（写真③）つや、輝きが出てくるまでひたすら磨く。
 - 1:10 最後に穴にひもを通す。（写真④）
 - 1:20 片付け
 - 1:30 終了
- ※落とすと割れてしまうので、落とさないように注意をする。

①



②



③



④



③後片付け

学校・団体：粉を包んだ新聞紙は、燃えるごみとして処理する。ゴミ袋に入れてゴミ置き場に運ぶ。
 ブルーシートは、草の上で粉をはたき、きれいにする。※コンクリートを粉で汚さない。
 洗面器の粉の入った水は、野外炊飯場：排水口、ピロティ：足洗い場に流し、軽くゆすぐ。
 使用した野外炊飯場の机は、濡れたぞうきんでよく拭き、まわりをほうきで掃く。
 金ヤスリ、余った材料、洗面器、ブルーシートはサービスセンター受付へ返却する。

家族：使用した机は濡れたぞうきんでよく拭く。
 粉の入った新聞紙は、燃えるごみとしてごみ箱へ捨てる。
 金ヤスリ、粉と水の入った洗面器は、粉と水が入ったままサービスセンター受付に返却する。